専門教育科目　講義科目

科目名：	組織マネジメント論	科目コード	HB03
		単位	4
科目主査：	松本 久良　　担当講師： 内藤 英俊、益井 常明、松本 久良	配当年次	1

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

組織のあり方が大きく変貌し、組織と個人の関係のあり方も大きく変化しつつある中で、組織に関する理解を深め、様々な環境変化への対応について考えることが今こそ必要になっています。本科目では、動機づけやリーダーシップなど、組織メンバーに焦点をあてた「ミクロ・アプローチ」、および組織の構造、形態、文化など組織そのものに焦点をあてた「マクロ・アプローチ」という、経営組織論を理解する上での2つの主要なアプローチに基づいて学習します。

履修の前提となる科目	☐ あり　☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、質問できるようにしておいてください。経営学の基本的な知識や、経営戦略、経営管理などについて学習しておくと理解が深まります。	
テキスト	『基礎からわかる経営組織』松本 久良, 産業能率大学出版部, 最新版	

この科目の 到達目標	①組織における「ミクロ・アプローチ」および「マクロ・アプローチ」の諸理論を理解し、自分の言葉で説明できるようにします。 ②自身の関わる組織において、「ミクロ・アプローチ」および「マクロ・アプローチ」それぞれにかかわる課題を見出し、解決に向けた考察ができるようにします。
成績評価 の 方 法	「出席状況(提出課題を含む)」30%、「最終試験」70%とします。詳細は下記を参照してください。また、その他の材料を評価に含める場合など、詳細については担当教員からの説明に従ってください。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	組織とは大変身近な存在であり、現代人はビジネス組織をはじめ複数の組織に属することもめずらしくはありません。組織論にも実践的な側面が求められますので、スクーリングで培った知識を活用して、企業や身近な組織をこれまでとは違った視点で、より多面的に見ることを心掛けるとよいでしょう。そのためにも日頃から組織を注意深く観察することを続けてください。具体的には、ホームページなどで会社の理念、部門編成(組織図)、組織運営の考え方、従業員への思い、こうしたことを探求するのも有効だと思います。
事後学習の 参考文献	『組織論』（補訂版）桑田 耕太郎/田尾 雅夫, 有斐閣アルマ, 2010年 『現代ミクロ組織論 その発展と課題』 二村 敏子, 有斐閣ブックス, 2004年 『組織デザイン』 沼上 幹, 日本経済新聞出版社, 2004年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイクは必須となります。